

トランスジェンダーを自認する人の教会への参加

地元の指導者のための指針となる原則

この文書は、『総合手引き』38.6.23, 「トランスジェンダーを自認する人」に書かれている方針を補足するものです。その目的は、地元の指導者が教会への参加に関する特定の状況について、個人やその家族に助言できるように支援することです。

一般的な指針

いずれの場合も、地元の指導者は以下のことを行います。

- 霊的な導きを求める。
- 個人やその家族に福音の真理を教えながら、愛と敬意をもって接する。
- 本人とワードのほかの会員が必要としていることについて考慮する。
- 性に関する教会の教義が批判や誤解を受けることのないようにする。
- 助言を求める。ビショップはステーク会長に相談します。ステーク会長と伝道部会長は、地域会長会に助言を求めます。
- 未成年の子供を持つ親や保護者に関与してもらう。

本人の好みの名前と代名詞

公式の教会記録には、会員の出生時の生物学的性別が反映されます。

本人の好みの名前や代名詞を使用するかどうかは、個人とその家族、友人、教会員の間で決めるべき事柄です。地元の指導者は、会員が個人をどのように呼ぶか決めたり、指示したりするべきではありません。

会員に好みの名前がある場合、会員記録の「通称」欄に記載することができます。

男女別の集会や活動

個人は、出生時の生物学的性別と一致する性別を対象とする集会や活動に参加します。

例外については、きわめてまれであるべきであり、上記の「一般的な指針」に従い、地域会長会の承認を得なければなりません。

宿泊を伴う活動

男女別の、宿泊を伴う活動では、出生時の生物学的性別と一致する性別グループのキャンプにのみ参加します。そのような活動の例として、若い女性キャンプやアロン神権定員会キャンプがあります。

男女合同の、宿泊を伴う活動では、出生時の生物学的性別から外科的、医療的、社会的に移行しようとしている人は、夜は会場施設から離れる必要があります。青少年の場合は親または法定後見人に引き渡され、親または法定後見人が宿泊するところを手配する責任を負います。このような活動の例として、ヤングシングルアダルトカンファレンス、FSYカンファレンス、ユースカンファレンスがあります。

召しと割り当て

出生時の生物学的性別から外科的、医療的、社会的に移行しようとしている人は、(1) 性別に特定した役割を果たすこと、(2) 教師として奉仕すること、(3) 子供や青少年にかかわることについて、召しや割り当てを受けることはありません。成長する機会や奉仕する機会をもたらし、その他の召しや割り当ては受けることができます。

教会施設内のトイレ

トイレは、プライベートで安全な環境を提供する必要があります。すべての個人のプライバシーと尊厳を尊重するように注意しなければなりません。

出生時の生物学的性別から外科的、医療的、社会的に移行しようとしている人は、可能な場合、個室トイレを使用すべきです。

個室トイレを利用できない場合、地元の指導者は、本人（本人が青少年の場合は、本人とその親または保護者）と相談して解決策を見つけます。選択肢には以下が含まれます。

- 出生時の生物学的性別と一致するトイレを使用する。
- 本人の性別の感覚に対応するトイレを使用する。その際、ほかの人が同時にそのトイレを使用しないように、信頼できる人が注意を払う。